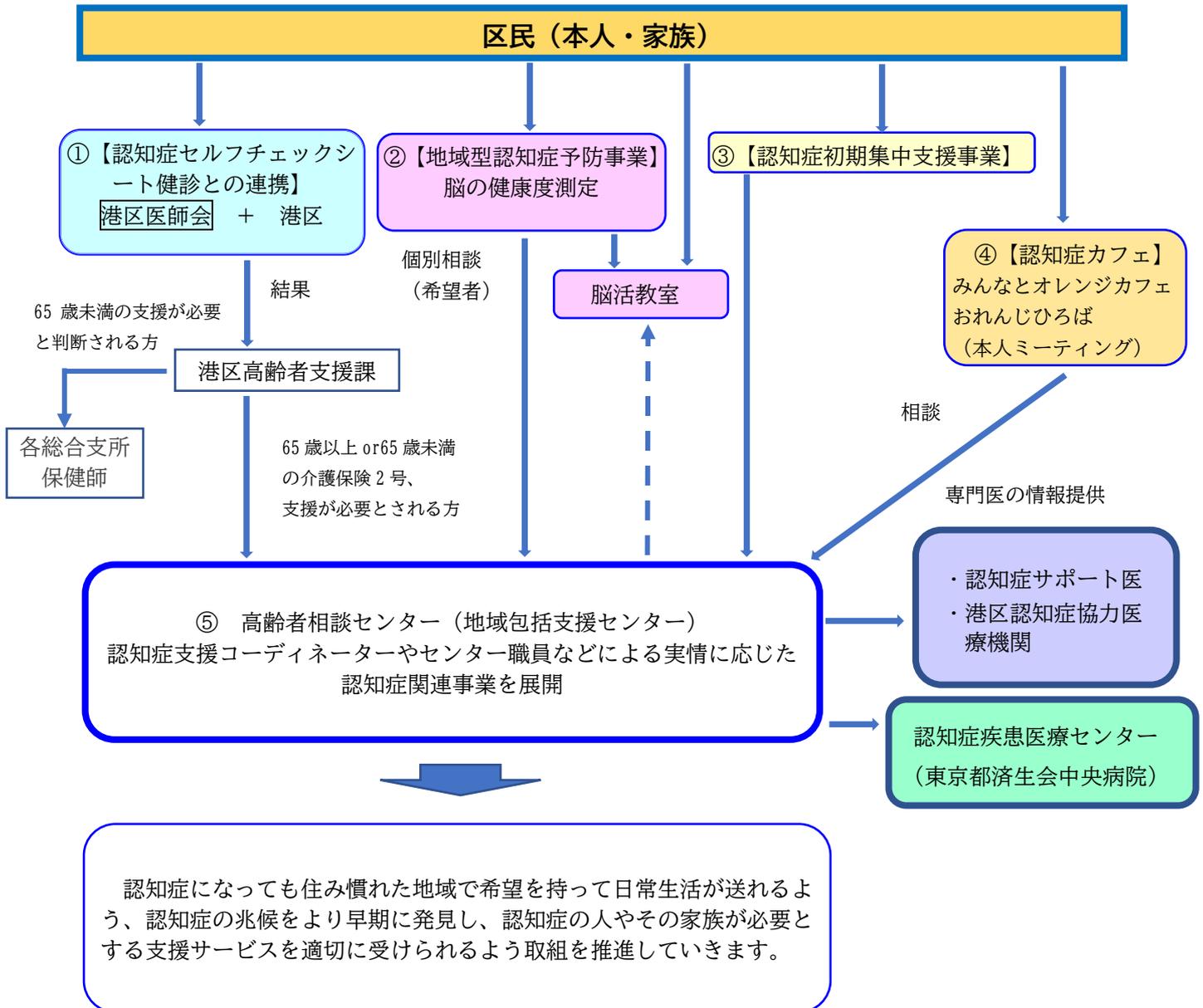


## 認知症の早期発見・早期対応について

令和 7 年 1 月 29 日  
高齢者支援課

## 1 認知症の早期発見・早期対応のフロー図



## ① 認知症セルフチェックシート健診との連携

東京都福祉保健局作成の「知って安心認知症」（令和 3 年 11 月発行）のリストと港区独自質問を追加した内容を活用した健診を港区医師会が実施しています。

また、本年度から認知症セルフチェックシート健診の内容を次のとおり拡充しています。

- ・対象年齢 60 歳から 50 歳に対象年齢を引き下げ。
- ・健診期間 これまでの 7 月から 10 月までを 7 月から翌年 1 月までに延長。
- ・質問項目 港区の独自質問（3 問）を追加。

## ア 認知症セルフチェックシート健診との連携

本年度より、同意が得られた区民の認知症セルフチェックシート健診の結果を区が共有し、支援が必要な方に対し、認知症支援コーディネーター等による個別支援を実施しています。

●認知症セルフチェックシート健診で共有できた件数（7月～10月実績） 単位：人

7月	8月	9月	10月	合計
392	585	939	1,182	3,098

●健診結果の分類によるフォロー

支援対象者・・チェックリスト 20 点以上又は独自質問に 1 つ以上に該当する人、  
区に支援依頼がある人

●フォロー対象者及び担当

フォロー対象者	フォロー担当
65 歳以上と 64 歳以下の介護保険 2 号の人	各高齢者相談センター
64 歳以下	高齢者支援課高齢者相談支援係

●フォロー対応実績

単位：人

	高齢者相 談支援係	芝 地区	麻布 地区	赤坂 地区	高輪 地区	芝港 地区	その他 (転出)	月合計
7月	12	4	14	21	16	12	1	80
8月	27	23	15	21	19	28	0	133
9月	33	39	41	25	36	58	0	232
10月	55	61	41	38	36	42	0	273
合計	127	127	111	105	107	140	1	718

② 地域型認知症予防事業

ア 脳の健康度測定

「のう KNOW®」ツールで脳の健康度(脳年齢や集中力、記憶力)を測定。測定はタブレットで、15 分程度のセルフチェックシートを実施します。(受託事業者：(株)エーザイ)

測定後、個別相談を希望者に実施し、「ブレバサイズ」(体と脳を活性化するデュアルタスク)による脳活の運動を 11 月より測定会後に実施しました。また、参加者に認知症予防事業「脳活教室」の周知を行ったところ、参加者の増加がみられました。

●健康度測定会の実施状況

単位：人

日 程	参加者数 (定員)	個別相談	脳活の運動(ブレバサイズ)参加
7月8日(月)	45 (50)	12	実施せず
10月5日(土)	45 (50)	14	実施せず
11月1日(金)	54 (60)	17	29

イ 脳活教室

認知症予防のミニ講話や有酸素運動を実施 (受託事業者：(株)セントラルスポーツ)

●脳活教室実施状況

単位：人

日 程	参加者人数 (定員)
6月27日～4週連続	17 (40)
11月15日～4週連続	33 (40)

③ 認知症初期集中支援事業

認知症の人及びその家族に対する初期支援を包括的かつ集中的に行うため、認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の早期診断及び早期対応に向けた支援を行うことにより、可能な限り住み慣れた地域で生活を続けることができるよう支援しています。

・認知症初期集中支援チーム（東京都済生会中央病院に配置）

⇒ 認知症の人やその家族をチーム員が訪問し、継続的なサービス等、今後につなげていくための初期支援を行います。

⇒ 構成する職種・・・医師、保健師、看護師、作業療法士、歯科衛生士、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士等

④ 認知症カフェ

みんなとオレンジカフェと認知症本人同士の交流会である「おれんじひろば（本人ミーティング）」を開催。（受託事業者：NPO 法人介護者高齢者支援けあポート）

●おれんじひろばの参加状況（本年度より開始・年5回予定） 単位：人

開催日	本人	家族	その他（関係者）
5月23日（木）	1	2	7
6月26日（水）	1	0	0
8月7日（水）	5	0	3
10月30日（水）	4	1	9
合計	11	3	19

⑤ 認知症支援コーディネーター

保健師又は看護師の資格を有した高齢者相談センター職員が認知症の人とその家族にかかわる医療従事者や介護従事者と連携して認知症の疑いのある人を把握し、電話や訪問などで必要なサービスにつなげています。

・認知症セルフチェックシート健診後の個別支援や脳の健康度測定後の個別相談の他、区民やケアマネジャー等の関係機関からの認知症相談や介護保険に関わる相談と訪問を実施しています。

●相談件数 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
実人数	347	209	235	235	185	304	245	1,760
延人数	873	730	780	863	795	603	548	5,192

●訪問支援件数 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
実人数	68	40	45	41	46	31	37	308
延人数	96	66	68	70	50	42	41	433

### ○認知症疾患医療センター

東京都が、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、身体合併症と行動・心理症状への対応、専門医療相談等を実施するとともに、地域の保健医療・介護関係者への研修等を行うことにより、地域において認知症について進行予防から地域生活の維持までに必要となる医療を提供できる機能体制の構築を図ることを目的として設置しています。

港区では、地域連携型認知症疾患医療センターとして、東京都より、東京都済生会中央病院が指定されています。

### ○認知症サポート医

「認知症サポート医養成研修」を修了した医師で、認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となることが期待されている医師を指します。（東京都 HP より）

### ○港区認知症協力医療機関

港区医師会所属医療機関で、認知機能検査や認知症の鑑別診断を実施する医療機関です。

### ○認知症ガイドブック

認知症の正しい知識の普及啓発と認知症の状態に応じた適切なサービスの利用促進を目的に作成しています。

内容は、認知症発症予防から人生の最終段階まで、認知症の容態に応じ、認知症の人、その家族が適切な保健・医療・福祉サービスを円滑に受けられるように示したものです。

今後、認知症本人のご意見も踏まえた本人向けのページを追加・修正していく予定です。



## 2 今後の課題と対応等について

認知症の早期発見のためには、認知機能のセルフチェックの機会を幅広く提供し、認知機能の低下が疑われる人に対し、認知症支援コーディネーター等による個別支援など早期対応が必要です。また、今年度から港区医師会との連携を強化し、認知症セルフチェックシート健診の結果が区に提供されるようになりましたが、健診後に個別支援があることの周知不足や健診結果への理解が不十分な状況がうかがえ、さらに、ケアマネジャー等の支援者への周知や、個人情報の取扱いも課題となっているため、効果的に活用ができるよう更なる充実が求められています。

引き続き、認知症の普及・啓発に取り組むとともに、認知症予防を目的にしたプログラムの充実など、認知症の備えに向けた取組の推進や認知症カフェ等のサービス利用の促進に努めていきます。